

第6章

計画の推進

1

数値目標の設定

本計画の推進にあたっては、基本目標ごとに数値目標を設定し、施策の進捗管理を行っていきます。なお、本計画は令和11年度までの計画であり、令和11年度に本計画の総括及び改定業務の実施を想定しているため、数値目標は令和10年度に設定しています。

また、基準値の欄に「%」で記載している数値は、主に令和5年12月に実施した「瀬戸市子ども総合計画改定のためのアンケート調査結果」の数値です。

※ 保護者…6歳児・小学5年生・中学2年生保護者

基本目標1 子どもの権利を守る

指標		基準値	目標値
		R5	R10
「子どもの権利を知っていますか」の項目で「内容を知っている」と答える子ども・若者、保護者の割合	小学5年生	25.6%	30.0%
	中学2年生	26.2%	31.0%
	17歳	47.2%	52.0%
	19-29歳	30.8%	35.0%
	保護者	29.4%	34.0%
「瀬戸市子どもの権利条例を知っていますか」の項目で「内容を知っている」と答える子ども・若者、保護者の割合	小学5年生	6.0%	11.0%
	中学2年生	5.0%	10.0%
	17歳	5.4%	10.0%
	19-29歳	3.8%	8.0%
	保護者	8.0%	13.0%
「自分のことが好き」の項目で「とてもそう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える子ども・若者の割合	小学5年生	68.7%	75.0%
	中学2年生	61.6%	65.0%
	17歳	70.3%	75.0%
	19-29歳	75.2%	80.0%
子ども・若者会議の実施		3回	3回

基本目標2 子ども・若者の育ちの支援

指標	基準値	目標値
	R5	R10
保育園の待機児童数	2人	0人
放課後児童クラブの待機児童数	0人	0人
放課後児童クラブが楽しいと思う児童の割合 (利用児童へのアンケート)	96.3%	97.0%

「放課後学級」が楽しいと思う児童の割合 (利用児童へのアンケート)		94.2%	95.0%
「子どもがスポーツ、自然体験、社会活動などのできる機会や場所がある」の項目で「満足」「やや満足」と回答する保護者の割合		41.6%	46.0%
「子どもを生み育てたいと思いますか」の項目で 「思わない・わからない」と答える若者の割合	17 歳	39.0%	35.0%
	19-29 歳	30.8%	25.0%
「瀬戸市は、安心して子どもを生み、育てることができる環境にあると思いますか」の項目で「思う」「どちらかといえば、そう思う」と答える若者の割合	19-29 歳	61.6%	66.0%
小・中学生期、高校生期の子どもの学びの場・体験活動を利用した人数 ※交通児童遊園、せとっ子ファミリー交流館、プレイルームで開催する教室に参加した子どもの延べ人数		1,610 人	1,700 人
乳幼児や小学生向けの各種教室やまつり、職場体験等に参加する中学生・高校生・大学生世代の若者の数 ※交通児童遊園、せとっ子ファミリー交流館での異世代交流事業、ボランティア、職場体験、インターンシップ等に参加する中学生・高校生・大学生世代の若者の人数		403 人	450 人

基本目標3 子育て家庭への支援

指標	基準値	目標値
	R5	R10
「子育てを楽しんでいると感じる」の項目で「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答する保護者の割合	89.3%	95.0%
「子育ては孤独と感じる」の項目で「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答する保護者の割合	31.4%	20.0%
「瀬戸市は、妊娠期から出産期、子育て期まで、気軽に相談できる窓口が整っていると思いますか」の項目で「思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答する保護者の割合	54.5%	59.0%
「子育てにかかる費用について、経済的な負担を感じますか」の項目で「感じる」「たまに感じる」と回答する保護者の割合	79.9%	74.0%
「子育てが地域の人（もしくは社会）に支えられていると感じますか」の項目で「十分に感じる」「時々感じる」と回答する保護者の割合	55.8%	70.0%
「公園など、子どもが安心して遊べる場所がある」の項目で「満足でない」「それほど満足でない」と回答する保護者の割合	56.8%	29.0%
「歩道や信号機などが整っており、交通事故の心配がない」の項目で「満足」「やや満足」と回答する保護者の割合	31.7%	36.0%

平日に子どもと接する時間が理想よりも少ないと思う保護者（母親）の割合	35.6%	30.0%
平日に子どもと接する時間が理想よりも少ないと思う保護者（父親）の割合	74.6%	69.0%

基本目標 4 困難な状況に対応する子ども・若者、その家庭への必要な支援

指標		基準値	目標値
		R5	R10
「高校までの教育を受けさせたいが、経済的に難しい」と回答する保護者の割合		10.2%	2.0%
「大学までの教育を受けさせたいが、経済的に難しい」と回答する保護者の割合		38.9%	20.0%
「保護者からたたかれたり、なぐられたりした」の項目で、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」と回答する子ども・若者の割合	小学5年生	25.0%	5.0%
	中学2年生	22.2%	10.0%
	17歳	37.8%	10.0%
	19-29歳	42.7%	20.0%
外国人生徒の高校進学率（定時制を含む）		88.9%	96.0%
日本語初期指導が必要な児童生徒に対する初期指導の割合		100.0%	100.0%
「瀬戸市では、子ども・若者が困った時に、気軽に相談できる窓口が整っていると思いますか」の項目で「思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答する子ども・若者の割合	小学5年生	77.4%	80.0%
	中学2年生	67.2%	72.0%
	17歳	45.5%	50.0%
	19-29歳	46.4%	51.0%
「子どもが犯罪の被害にあわないように配慮されている」の項目で「満足」「やや満足」と回答する保護者の割合		26.9%	31.0%

本計画の推進にあたっては、行政だけでなく、一人一人の市民や地域団体、子どもにかかわる活動団体、事業所等、様々な主体が本計画を知り、関心を持ち、一緒に取り組んでいくことが重要です。

このため、本計画の内容を本市のホームページで掲載し、本市が発行する様々な媒体を通じて周知・啓発を行い、市民の理解と行動を促進します。

本計画を着実に実行し、目指すまちの姿を実現していくためには、施策や事業の実施状況を点検・評価し、次の取組に向けて検討し、改善して取り組んでいく、PDCA サイクル、つまり Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（対策・改善）の4つのプロセスを繰り返し、継続的に取り組んでいきます。

Check（評価）については、瀬戸市子ども・子育て会議に年次報告を行い、Action（対策・改善）にあたっての助言を受けることとします。

また、子ども・若者に関する施策は社会状況に応じて大きく変化することもあるため、必要に応じて随時見直しを行い、適切な対応に努めます。